

<呼吸器センター>

A.一般目標

呼吸器系疾患のプライマリーケアが実践できるために、呼吸器系疾患に関連した基本的な知識、態度、技能を習得し、頻度の高い疾患に対応できる能力を養う。

B.行動目標、方法および評価

行動目標		研修方法	評価方法
身体診察	全身の観察ができ、記載できる。	実習	カルテ評価
	胸部の診察ができ、記載できる。	実習、シミュレーション	カルテ評価
臨床検査	動脈血ガス分析（手技と解釈）	実習	口頭試問
	細菌学的（グラム染色）・薬剤感受性検査	実習	口頭試問
	肺機能検査（スパイロ）	実習	口頭試問
	（細胞診・病理組織検査）	実習	観察
	気管支鏡検査	経験	観察
	超音波検査（胸水）	実習	実地試験
	胸部単純 X 線	実習・健診・自習	口頭試問
	胸部 CT 検査	実習・自習	口頭試問
手技	胸腔ドレインを挿入でき、管理ができる	実習	観察
	気管支鏡の適応が理解でき、吸入麻酔ができる。	実習	観察
治療法	療養指導（安静度、入浴、食事、排泄）ができる。	実習	カルテ評価
	薬物（抗菌薬、ステロイド）を理解し、治療ができる	実習、自習	口頭試問
	外科的治療の適応を理解し、選択できる。	実習	口頭試問
医療記録	診療録を POS に従って記載し管理できる	実習	カルテ評価
	処方箋、指示書を作成し管理できる	実習	カルテ評価
	診断書を作成し管理できる	実習	観察
	死亡診断書を作成し管理できる	実習	観察
	CPC レポートを作成し症例提示ができる	実習	観察
	診療情報提供書、返書を作成し管理できる	実習	観察
経験すべき疾患	胸痛	担当医として実習	観察
	☐ 呼吸困難	担当医として実習	口頭試問
	☐ 咳・痰	担当医として実習	口頭試問
	急性呼吸不全	実習	観察
	急性感染症	実習	観察
	☐ 呼吸器感染症（急性上気道炎、気管支炎、肺炎）	担当医として実習、講義	レポート
	☐ 呼吸不全	担当医として実習	口頭試問

行動目標		研修方法	評価方法
経験すべき疾患	☐ B 閉塞性疾患（肺気腫、慢性気管支炎、気管支喘息）	担当医として実習、講義	□頭試問
	☐ C 気管支拡張症	担当医として実習	□頭試問
	☐ R 呼吸器疾患の手術症例	担当医として実習	□頭試問
	☐ B 結核、真菌症、寄生虫疾患	経験	□頭試問
	☐ C 肺循環障害（肺塞栓・肺梗塞）	講義	□頭試問
	☐ C 異常呼吸（過換気症候群、睡眠時無呼吸症候群）	経験	□頭試問
	☐ C 胸膜、縦隔、横隔膜疾患（自然気胸、胸膜炎）	経験	□頭試問
	☐ C 肺癌	経験、講義	□頭試問

☐A：入院患者を受け持ち、診断、検査、治療方針について症例レポートを提出すること

☐B：外来診療又は受け持ち入院患者（合併症含む）で自ら経験すること

☐C：機会があれば経験すべき疾患

☐D：自ら実施し、結果を解釈できること

☐R：レポートを提出すること

<呼吸器センター> 週間スケジュール

	月	火	水	木	金
指導医	A・B	C	D	E	A
8:30-9:00 (必ず9時までに 終了すること)	血液ガス採取	抄読会 (8:40～) 血液ガス採取	血液ガス採取	呼吸器センタ ー 血液ガス採取	血液ガス採取
9:00-9:15	ミニカンファ 今週の研修目標 今日の予定確認	今日の研修予 定確認	今日の研修予 定確認	ミニカンファ 今日の研修予 定確認	今日の研修予 定確認
午前	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務
	担当医回診	担当医回診	担当医回診	担当医回診	部長回診に同行
昼休み					
14:00-17:30	病棟業務 検査・自習	病棟業務 検査	病棟業務 検査・自習	病棟業務 検査・自習	病棟業務
17:30-17:45	本日のまとめ (A)	本日のまとめ (B)	本日のまとめ (C)	本日のまとめ (D)	今週のまとめ (指導医)
18:00-		内科会・症例発 表会(最終週)	合同カンファ レンス (第2,4週) CPC 最終週	呼吸器センタ ー症例検討会	研究会などに 参加

付記

☐ 肺炎の患者は必ず経験し、レポートを提出すること。

☐ 肺炎治療のガイドラインと抗菌薬の使い方 担当：A (月 日)

☐ 肺癌の診断と治療・ガイドライン 担当：B (月 日)

☐ 気管支喘息の診断と治療・ガイドライン 担当：C (月 日)

☐ 間質性肺炎の診断と治療・ガイドライン 担当：D (月 日)

☐ COPD の診断と治療・ガイドライン 担当：E (月 日)